



# 目標達成のための具体的な方法と取組



**P** Produce  
高度なものづくり  
人材の育成

- 質の高い授業・実習を行い実践経験をしっかり積むことで、高度な技能や資格などを取得する意欲を育てる。
- 各種コンテストや競技大会に向けて1年次から計画的な指導を行う。
- 出前授業やものづくり教室の実施など、中学校との連携を充実させるとともに、中学校訪問などで本校のPRを積極的に行う。

**R** Relate  
地域連携

- 社会人講師を積極的活用する。
- インターンシップや実習支援を通して地域の企業とのネットワーク構築を進める。また、専門性を生かした長期インターンシップを実施する。
- 中高と高大、企業との関係性を深め、情報の共有を行う。
- 親子ものづくり教室、WROロボット大会等を通して、小中学生のものづくりに対する興味・関心を高める。

**I** Improve  
授業改善

- 資質・能力を育むために「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業を展開する。
- 「言語活動の充実」「思考力・判断力・表現力等の育成」「ICTの活用」など明確なテーマを設定し、職員の研修や研究授業を行う。

**D** Dream  
進路指導の充実

- 進路指導の3年計画やキャリア教育の系統化と視覚化を行う。
- 進学と就職それぞれの志望が実現されるとともに現代社会の要請に応えることのできるカリキュラムの改訂を行う。

**E** Enrich  
部活動の充実

- キャリア教育の視点に立って生徒の指導を行う。
- 外部コーチの活用を図るなど、部活動の適正な運営体制を構築する。
- 高い目標を設定し、生徒自ら計画・活動できる部活動運営を推進する。